

登録速報

農 薬 名：アルハーブフロアブル（登録番号：第 19784 号）

（株）SDSバイオテック登録）

適用拡大登録月日：平成27年9月30日

適用拡大登録内容：

- 「適用土壌」及び「適用地帯」の欄を削除する。
- 「使用方法」原液湛水散布の使用時期「移植直後～1葉期 ただし、移植後 30 日まで」を「植代後～移植前 7 日または移植直後～1葉期 ただし、移植後 30 日まで」に変更する。

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	テニクロールを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ	植代後～移植前7日 または移植直後～ 1葉期 ただし、移植後 30日まで	500 ml/10a	1回	原液湛水散布	2回以内
		移植時			田植同時 散布機で施用	

注意事項の変更：

【変更後】

- 使用前に容器を軽く振ること。
- 本剤は雑草の発生前から発生始期に有効なので、時期を失しないように散布すること。特に一年生広葉雑草の多発田では効果にふれが出るので使用をさけること。また、必要に応じて移植後に使用する除草剤との体系で使用する。
- 苗の植付けが均一となるよう代かき、均平化及び植付作業はていねいに行うこと。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行うこと。
- 散布の際は水の出入りを止めて、湛水状態（湛水深3～5cm）のまま本剤を水田全面にゆきわたるように散布し、少なくとも本剤散布後3～4日間はそのまま湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。
- 下記のような条件では薬害が発生するおそれがあるので、使用をさけること。
 - 砂質土壌の水田及び漏水田（減水深2cm/日以上）
 - 軟弱苗を移植した水田

○極端な浅植の水田及び浮き苗の多い水田

○稲の根が露出している水田

- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合や異常気象時は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

以 上